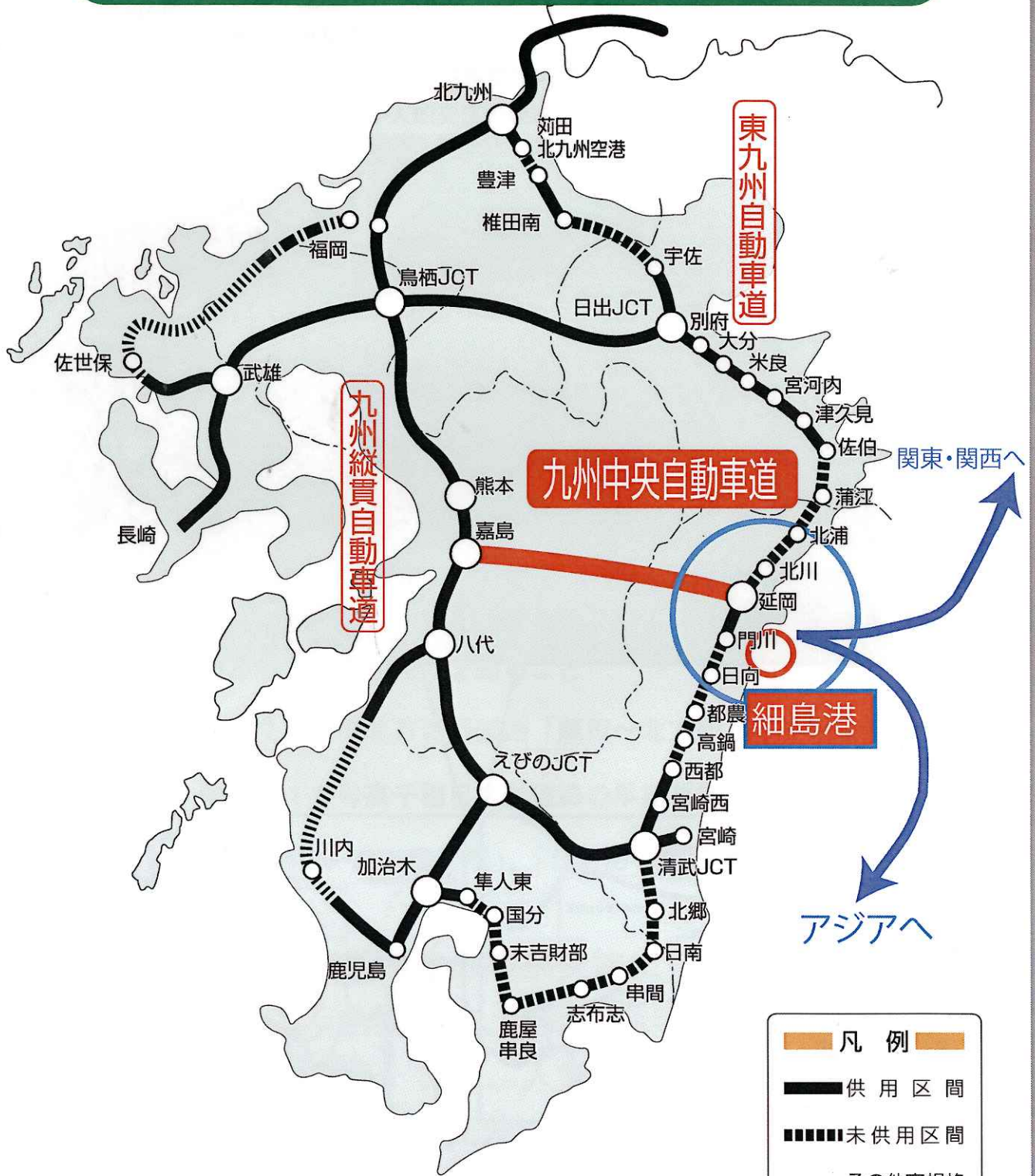


提言書

九州横断自動車道熊本延岡間
“命のみち”をつなぐ会

九州中央自動車道(九州横断自動車道延岡線)

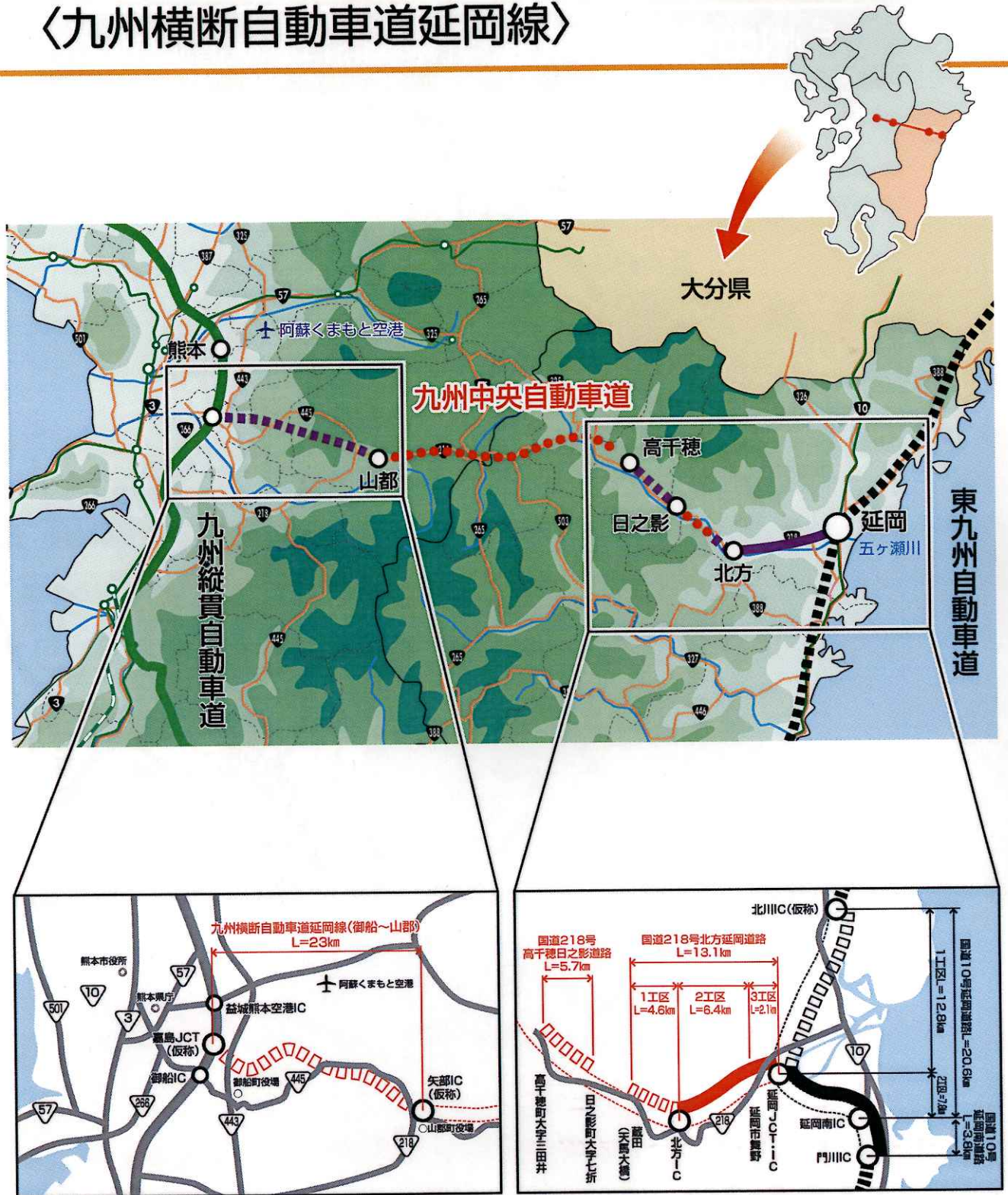


- 凡例
- 供用区間
 - - - 未供用区間
 - その他高規格道路計画区画

九州の一体的かつ均衡ある発展を図るために

九州中央自動車道の早期整備

〈九州横断自動車道延岡線〉



九州中央自動車道の早期整備について

本路線は、九州中央部において、九州の東西を結びつけるだけでなく、九州縦貫自動車道や東九州自動車道と一体になって九州の循環型高速交通ネットワークを構成する大変重要な路線であります。

本路線が整備されることにより、沿線地域の諸産業の振興が図られるだけでなく、九州地域全体の物流の効率化や人的交流の促進が期待されるなど、九州の一体的浮揚につながるものであり、その整備は喫緊の課題となっています。

しかしながら、平成22年度当初予算では、国の公共事業費が大幅に縮減され、今後も十分な予算を確保してもらえるのか大変危惧しております。また、道路整備の遅れにより、地方と都市部の格差がますます広がる事も懸念しております。

そのような状況の中、熊本県、宮崎県両県の住民による本路線の早期整備を求める署名活動を行い、平成22年3月1日～5月31日の3ヶ月間で25万6643人の署名を集めました。この、沿線住民の熱い思いを受け止めていただき、今後の更なる円滑な事業の促進、また「嘉島～延岡間」(9.5km)の全線開通に向けて、次の事項の重要性をご理解賜りますようお願いいたします。

1. 九州中央自動車道の早期整備を図ること。

- (1) 直轄事業費を従前並みに確保し、新直轄事業区間「嘉島～山都間」の早期完成を図ること
- (2) 国道218号北方延岡道路「蔵田～北方間」の早期整備。
- (3) 国道218号高千穂日之影道路の早期整備。
- (4) 「五ヶ瀬町～高千穂町間」、「日之影～蔵田間」の早期事業化。

2. 高規格幹線道路等の事業実施に当たっては、高速道路整備による企業誘致、雇用誘発等の経済波及効果、災害時の代替道路、また、人命に関わる救急搬送ルートとしての重要性等を十分に勘案すること。

九州横断自動車道熊本延岡間“命のみち”をつなぐ会

会長 延岡商工会議所会頭 清本英男
発起人 熊本商工会議所会頭 中尾保徳
発起人 延岡青年会議所理事長 長友賢二
発起人 熊本青年会議所理事長 宮本勝利
発起人 道づくりを考える延岡女性の会会長

梶井恵子

延岡市長 (九州横断自動車道延岡線建設促進期成会 会長)

首藤正治

街頭署名活動の様子

熊本県熊本市
平成22年5月23日
「THE九州横断自動車道
フェスティバル」にて

宮崎県延岡市
平成22年4月17日
九州春の三大祭り
延岡大師祭にて



署名総数

256,643名
(平成22年
3月~5月)